

(概要版)

仲間として認め合える児童を育成する 学級活動の工夫

— 「学級生活づくりの指導のめやす」を踏まえた年間指導計画の作成を通して—

現状と課題

長期研修員 金井 仁史

・自分に自信がもてない
・人間関係に不安がある

・小1プロブレム
・中1ギャップ
・学級づくりの課題

・好ましい人間関係が築けない
・ただ一緒にいるだけ

小学校学習指導要領解説 特別活動編
・目標「集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする・・・」
・低・中・高学年の発達の段階別に内容を明記

平成21年度 群馬県学校教育の指針
・「よりよい生活や人間関係を形成する力の育成」
・組織的、計画的な取組
・話し合い、体験活動、異年齢集団活動の重視

○集団で活動することを通して、よりよい生活や人間関係を築く
○話し合い活動、体験活動の充実
○適切な計画と取組

研究のねらい

- 「学級生活づくりの指導のめやす」の設定
- 低・中・高学年の発達の段階に合わせた内容や指導
- 話し合い活動と体験活動を関連させた重点活動

- ・相手を思いやる
- ・互いを受け入れる
- ・互いのよさを認め合い、よりよく伸ばし合う

経験の積み重ね

年間指導計画の作成

仲間として認め合える児童とは・・・

共通の目的に向かって一人一人が役割を果たすと共に、相手を思いやり、受け入れながらよさを認め合いよりよく伸ばし合うことのできる児童

仲間として認め合える児童の育成

研究の内容

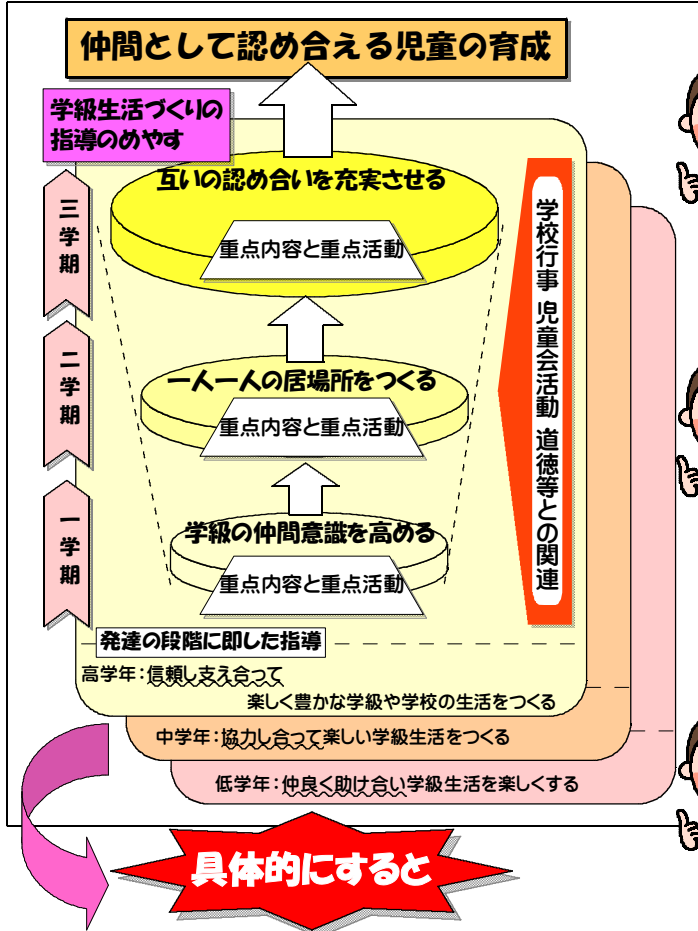
次のポイントを視点に、
年間指導計画を作成しましょう



発達の段階に即した指導のめやすを基に、目指す児童の姿を明確にしましょう。

低・中・高学年の発達の段階に合わせ、目指す児童の姿を明確にし、教師が6年間で育てたい児童を共通認識して指導できるようにしましょう。

研究構想図



「学級生活づくりの指導のめやす」を設定しましょう。

学校として各学期ごとの「学級生活づくりの指導のめやす」を決めましょう。このめやすを基に、指導の重点を決定することによって、1年間を見通した活動ができるようにしましょう。



「学級生活づくりの指導のめやす」を具体化した重点内容・重点活動を設定しましょう。

学期ごとの重点内容を決め、活動の中心となる重点活動を設定しましょう。重点活動は、話し合い活動や体験活動を関連させて、児童が共に考え、協力して活動する経験を積み、思いやりやよさを認め合うなどかかわりを深められるようにしましょう。



学校行事や児童会活動との関連を図りましょう。

取り上げる議題や題材は、時期や学校行事、児童会活動等との関連を図ることによって、児童の興味や意欲を喚起できるように設定しましょう。

各学期・発達段階ごとの重点内容と重点活動

	低学年	中学年	高学年
3学期の指導のめやす	互いの認め合いを充実させる		
重点内容	相手のよいところを認め、仲よく活動し、学級への愛着を深める。	自分のよいところを伸ばそうとしながら活動し、学級への愛着を深める。	互いのよさを生かし、信頼し合いながら活動し、学級への愛着を深める。
重点活動	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでもじまん大会をしよう(1) ・あそびをしようかいしよう(1) ・がんばりをはっけんしよう(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1/2成人式をしよう(1) ・感謝の気持ちを伝えよう(1) ・1年間を振り返って(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お別れ会をしよう(1) ・まとめの集会をしよう(1) ・卒業に向かって(2) ・もうすぐ6年生(2)
2学期の指導のめやす	一人一人の居場所をつくる		
重点内容	みんなのために働くなどして、学級の一員としての意識を高める。	学級のために進んで働くなど学級の一員としての意識を高める。	自発的に一人一人が役割を果たし、学級の一員として意識を高める。
重点活動	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみかいをしよう(1) ・なかよくたすけあうクラス(2) ・ともだちのために(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内オリンピックをしよう(1) ・おたのしみ会をしよう(1) ・友達のため、自分のため(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・下級生との交流をしよう(1) ・学級集会をしよう(1) ・クラスのためにできることを考えよう(2)
1学期の指導のめやす	学級の仲間意識を高める		
重点内容	仲よく助け合いながら、学級生活を楽しく送ることの充実感を得る。	思いやりを持って協力し合い、決めたことをやり遂げる充実感を得る。	相手の立場を考え支え合い、目標や目的を達成した充実感を得る。
重点活動	<ul style="list-style-type: none"> ・なかよし会をしよう(1) ・あたらしいともだちとあそぼう(1) ・すてきなことばをふやそう(2) ・みんななかよくしよう(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級のはたをつくろう(1) ・学級の歌をつくろう(1) ・友達となかよくしよう(2) ・新しい友達をつくろう(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりの遊びをしよう(1) ・男の子、女の子(2) ・男女の協力(2)

* (1) (2) は活動内容「(1) 学級や学校の生活づくり」と「(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全」の議題及び題材

年間指導計画の例

学級活動 高学年（5・6年）年間指導計画

※ 国語は学級生活づくりの指導のめやすに関する重点活動

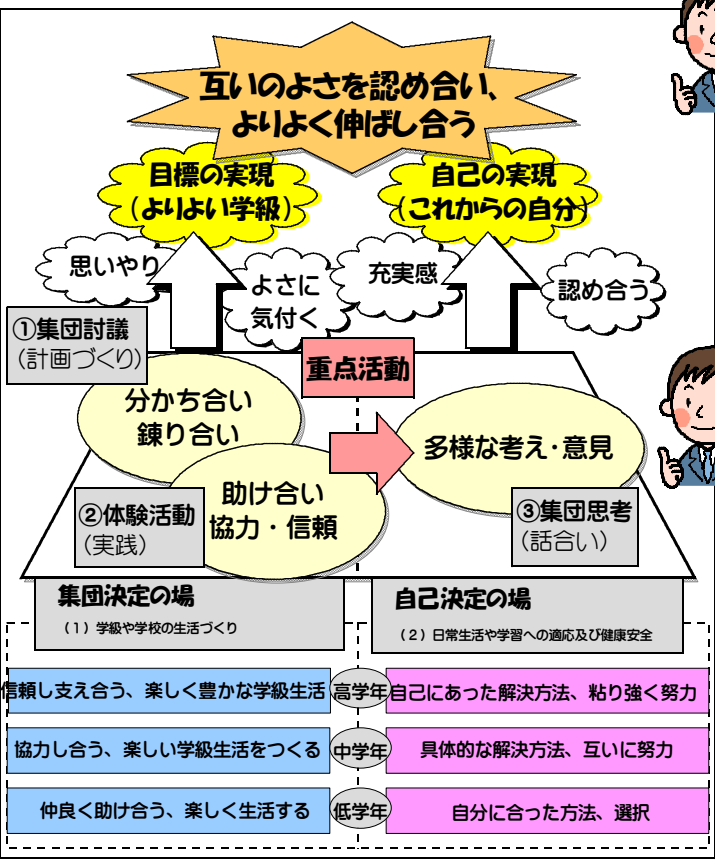
指導のねらい	(1) 学級や学校の生活づくり 学級の充実と向上を目指して学級委員で話し合い、決定し、実践していく活動を通して、諸問題を解決しようとする自主的、果敢的な態度を育てる。 (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 日常生活や学習の場における安全確保を図る。自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
計画委員への指導	学級活動の計画委員を育成し、活動の推進に努める。話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
計画委員への指導	学級活動の計画委員を育成し、活動の推進に努める。話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
学級活動の内容	(高学年) 学級を単位として、信頼しあふ関係で楽しく豊かな学級や学校の生活をつくとともに、日常生活や学習に主体的に取り組むことのできる態度の向上を図る。学級生活づくりの指導のめやす(1)～(3)を達成する。
話し合い活動	話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
係活動	学級活動やクラブ活動(学級活動)を通して、学級生活を楽しく豊かにする。話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
集会活動	学級活動やクラブ活動(学級活動)を通して、学級生活を楽しく豊かにする。話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。
行事活動	学級活動やクラブ活動(学級活動)を通して、学級生活を楽しく豊かにする。話し合いの場を積極的に活用し、自己決定し、個々で実践する活動を通して、主体的な態度を育てる。

年間指導計画に表すと

- 道徳とのかかわり
学級活動で取り扱うねらいについて明記
- 計画委員への指導
話し合い活動に至るまでの流れを記述
- 発達の段階に即した指導のめやす
話し合い活動と係活動、集会活動について記述
- 学校行事や児童会活動等とのかかわり
行事や活動・道徳の単元について明記
- 議題や題材の工夫
2学年に共通した題材や学年ごとの題材など、児童の実態によって弾力的な指導
- 重点活動
活動内容(1)と(2)を関連付けた活動を位置付ける

話し合い活動と体験活動を充実させましょう

話し合い活動と体験活動を関連させた重点活動

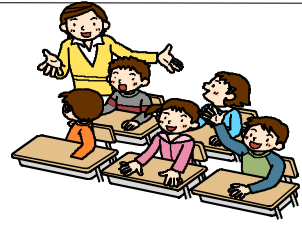


話し合い活動と体験活動を関連付けた活動を工夫しましょう。

活動内容(1)で集会活動の計画を集団決定し、体験活動を行う。実践した活動の成果を生かして(2)の話し合い活動の題材を決め、自己決定をする。これらの活動を関連付けて実践し、児童の思考の深まりや話し合い活動の活性化につなげていきましょう。

友達とのかかわりを深め、互いを受け入れることを意識して重点活動に取り組みさせましょう。

話し合い活動や体験活動の中で、友達の見受け入れる、よさに気付く、思いやりなどの気持ちを高め、かかわりを深めることを通して、児童が互いのよさを認め合い、よよく伸ばし合えるようにしましょう。



実践授業

- 第6学年 2学期重点活動
- 活動内容(1)「下級生との交流をしよう」(2時間)



計画委員の活動

児童の思いや願いから、議題や話し合い活動の柱を決め、司会・記録などを担当し、中心となって活動した。



①集団討議(計画づくり)

事前の調査を基に「なかよし勉強会」の活動や具体的な内容について話し合い、決定した。



②体験活動「なかよし勉強会」

漢字パズル、虫食い計算、しりとり計算、絵の学習の4つのグループに分かれ、自分の役割を果たすこと、2年生のためになることを意識しながら活動した。

- 活動内容(2)
- 「クラスのためにできることを考えよう」(1時間)



③集団思考(話し合い活動)

「なかよし勉強会」の振り返りから課題を設定し、自分のよさをクラスのために生かすことについて話し合い、自分の取組を決定した。

実践授業の結果

話し合い活動と体験活動を関連付けた活動について

- 自分たちのアイデアを生かして実践しようとする気持ちや自分の役割を理解して進んで取り組もうとする意識が高まった。
- 活動したことを基に自分の意見を持ち、自分と友達の考えを比べながら様々な意見を聞くことができたことにより、話し合い活動が活性化した。

計画委員の取組について

- 「なかよし勉強会」で行ったゲームでは、実際に見本を見せながらルール説明するなど、自ら工夫する姿が見られた。
- 計画委員を経験することによって、話し合い活動のスキルや集会活動に積極的に取り組もうとする意欲が高まった。

まとめ

成果

- ただ活動するだけの学級活動ではなく、活動のねらいを明確にもち、仲間として認め合える人間関係を築くための活動が1年間を見通してできるようになった。
- 低・中・高学年の発達の段階で目指す児童の姿が明確になり、6年間で培う話し合い活動や集会活動などを行う力を積み上げやすくなった。
- 話し合い活動と体験活動を関連付けた活動を取り入れたことによって、話し合い活動が活性化すると共に、友達の意見を受け入れ、共に考えることのできるようになった。

課題

- 重点活動以外の活動についても、具体的な活動内容を年間指導計画に示す必要がある。
- 道徳とのかかわりは、より明確に年間指導計画に位置付け、活動内容と関連を図っていく必要がある。
- 一人一人のよさを生かすためには、教師は活動を見守るだけでなく、児童の積極的な活動を促す言葉がけやアドバイスを適宜行う必要がある。

問い合わせ

群馬県総合教育センター
担当係 義務教育研究係

0270-26-9213 (直通)